

議会だより

No. 114
2021.11.1 発行



もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

表紙の作品

第2回観光協会観光フォトグランプリ 議会だより賞
題名 『Kファームの仲間たち』

コロナ禍で外出もままならない日々でしたが、青空の下、汗を流し、気の合った仲間と収穫を喜ぶコスモスの花にも負けない絵顔に出会いました。

撮影者 中庭妙子さん
撮影場所 葛貫

2P ~ 3P 令和2年度決算・主な事業

4P ~ 5P 決算の主な質疑・討論

6P 9月議会ではこんなことが決まりました

7P ~ 13P 一般質問13人が登壇

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

消防費 3,521万円

防災マップの作成や防災倉庫の設置、避難所となる大類館にエアコンの設置事業等



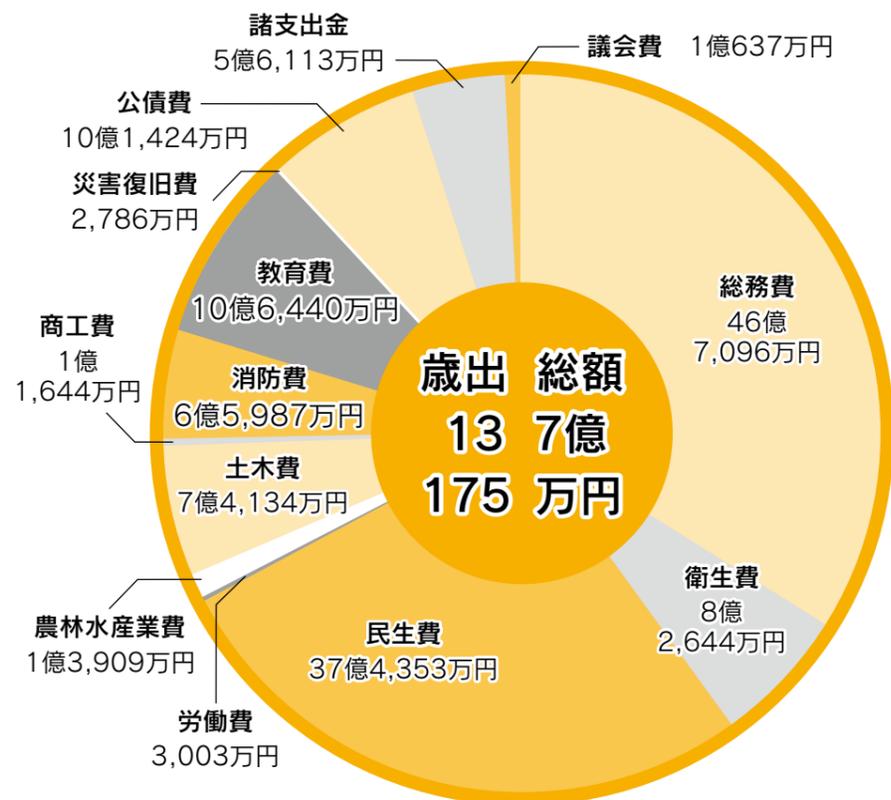
教育費 1億8,187万円

新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育て世帯の負担軽減の為に、小中学校の給食費無償化事業や、児童生徒の学習用タブレットやICT環境の整備等



商工費 7,015万円

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した中小・小規模事業者へ一律10万円の給付や商工会へ支援金の給付事業等



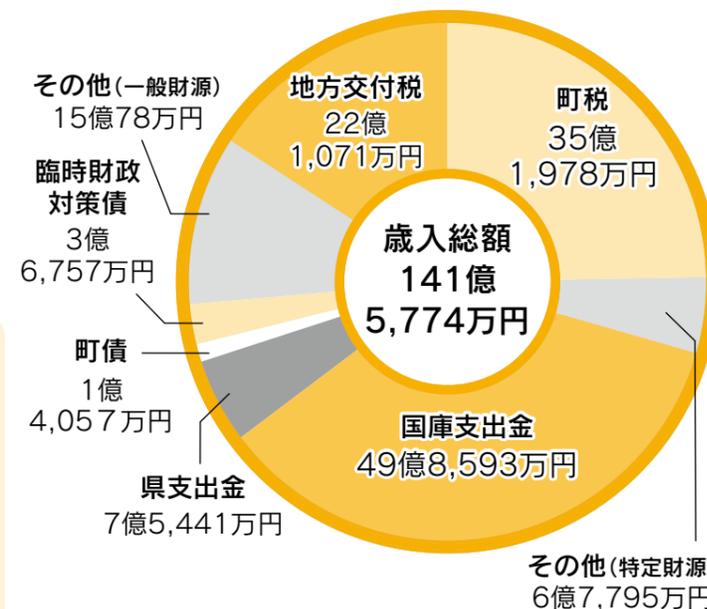
総務費 34億7,280万円

国民一人10万円特別定額給付金や新生児子育て支援金、各行政区など団体活動応援事業費、水道基本料金無償化事業等



民生・衛生費 8,443万円

ひとり親家庭等への臨時給付金や新型コロナウイルス感染症拡大により逼迫した病院・福祉施設等に支援金を支給



決算のポイント

令和2年度一般会計は、新型コロナウイルス感染症対策のために年度途中で国、県の支出金38億9,454万円が交付されたことにより、大幅な収入増となりました。その結果、歳入歳出ともに見かけ上は増となりましたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を除いた決算額をみると、自主財源は45.9%前年度対比△3.7ポイント、依存財源は54.1%となっておりとても厳しい状況にあります。また、町税の収入割合も前年度対比△0.3ポイントであり、**実質公債比率**も8.4%と増加傾向にあり、**経常収支比率**95.5%と前年度対比0.3ポイント上昇しており、厳しい財政状況にあることが見えてきます。

※グラフや表は万円未満を切り捨てのため総額が一致しないことがあります。

特別会計別の決算	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
国民健康保険特別会計	42億5,154万円	41億1,896万円	1億3,257万円	
水道事業会計	収益的収支	7億7,542万円	7億1,167万円	6,374万円
	資本的収支	1億1,585万円	3億9,114万円	▲2億7,528万円
農業集落排水事業特別会計	3,332万円	3,123万円	208万円	
介護保険特別会計	24億4,345万円	23億1,134万円	1億3,210万円	
後期高齢者医療特別会計	4億5,066万円	4億4,295万円	771万円	

討論	国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計
牧瀬 明 議員	均等割があるため反対	低所得者への保険料軽減率を縮小しておいて国はそのままにしているため反対

実質公債比率とは？
一般会計が負担する借金返済費用の割合。数値が高いほど他の事業にあてる財源を圧迫することになります。

経常収支比率とは？
扶助費など毎年かかる固定費の割合。数値が低いほど政策的に使えるお金が多いことになります。

令和2年度一般会計決算認定

予算決算常任委員会 主な質疑

教育委員会

- 問** 不登校の状況、特に令和2年は多く倍以上の数字になっている、その要因は。
- 答** 中学1年生での増加があった。コロナ対策の臨時休校があり、新しい人間関係づくりや行事等も行えないような状況があった。
- 問** 文部科学省が推奨するタブレット授業、その一環として小中学校のLANの構築工事で不具合などは発生しているのか。
- 答** 今のところ不具合発生はなく今年9月よりタブレットを使った授業を試みる予定。

小中学校別、不登校児童生徒の人数、過去10年間の推移

年度	小学校	前年対比	中学校	前年対比
H23	9	1	14	1
H24	6	-3	18	4
H25	10	4	13	-5
H26	8	-2	14	1
H27	13	5	15	1
H28	5	-8	26	11
H29	15	10	24	-2
H30	7	-8	20	-4
R01	29	22	22	2
R02	25	-4	45	23

教育相談のこれまでの件数と内容

	令和2年4月～令和3年4月		
	1電話相談	2面接相談	3訪問相談
不登校	26	49	16
いじめ	0	0	0
性格・行動	17	15	0
交友関係	0	1	0
学業・就学	35	29	0
その他	25	6	0
合計	103	100	16



GIGAスクール構想は、小中学生1人1台の端末から個人の教育データを収集・分析し、1人ひとりにフィードバックする個別最適化された学びの実現を目標にした事業

まちづくり

- 問** 道路維持費、工事請負費ということで多々あるが優先順位の決定過程は。
- 答** 工事採択基準は要望・緊急性・公共性、費用対効果等々が基準。道路整備計画の中で調整し、後に財政と相談、最終的に町長のヒアリングを通して決定している。
- 問** 西大久保の道路新設改良、車両通行や歩行者の安全性などの成果はあるのか。
- 答** 令和3年3月に工事は完了しており、信号も設置された。その後警察より事故等の報告、情報は入っておらず一定の安全性は達成できていると考えている。



森戸橋架け替えと共に整備された西大久保交差点歩行者・通学通勤などの安全性も向上した

一般会計決算認定
私は賛成します

村田 忠次郎 議員

教育分野では国庫補助金を活用し、IT機器を活用した、より良い学習の為のギガスクール小中学校整備事業、コロナ禍における安全な校内生活を目指す学校保健対策事業、児童・生徒を支える家庭への支援である小学校給食費無償化事業など、幅広く事業展開出来たことは評価できる。今後も町民の意見を聞き事業の推進をしていただきたい。

決算認定とは「議会が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査するとともに、各種資料に基づいてその行政効果や経済効果を測定し、町民に変わって行政効果を評価する」事です。

商工業費

- 問** 商工会の支援金の1,000万円のうちコロナ対策費で381万8,492円が決算。1,000万円のコロナ対策費が4割弱しか使用されていないが差額の処理は。
- 答** 商工会支援金の扱いは全て一般財源で手当てをし支援金という形で交付しており差額のほうの返還を求めている状況。
- 問** 本町独自の支援策、がんばるお店の1事業者10万円支給の件、499件の採択事業者の意見などは。
- 答** 申請から振込までを極力短期間で納付ができるように会計課と調整、その結果交付決定が早かったという話を頂いた。



80種類以上の品物から選べる毛呂山町の返礼品

歳入

- 問** 令和2年度は町民税で個人が1.5%減、法人税が8%減、この原因は法人税については税率の変更だけか、景気の低迷なのか。
- 答** 法人税の課税標準額は令和元年度、令和2年度で比較すると令和2年度は増えており、景気の低迷という影響はないものと考えられる。個人住民税は均等割の人数が減少しており、その減少率が2.9%で、その原因によるものと考えられる。
- 問** 地方交付税について2年度の決算では、21.5%占めており、毛呂山町の財源規模からして金額が大きい気がするが。
- 答** 地方交付税は、基準財政需要額と収入額の割合に基づいて計算された額。交付税はここ数年多くなってきている。現状を把握し歳出削減、自主財源の確保に努めていく。
- 問** ふるさと納税で町税収入に与える影響額は。
- 答** 町民税の控除額として令和2年度は2,803万6,000円である。

一般会計決算認定
私は反対します

長瀬 衛 議員

財政の硬直化が進んでいる。川角地区の「用途・区域指定」は、開発制度や法、条例を逸脱し、県、町の上位計画と整合していない。大型店の出店が市街地の空洞化を招き、持続的町づくりを反する。

川角駅周辺整備事業、スマートシティ事業、ユズ搾汁施設の方向性等を懸念する。「住民無視の安易な計画」が町政の停滞を招いている。

岡野 勉 議員

コロナ禍で日本の凋落ぶりが著しい。労働者の約4割が非正規労働者、ジェンダーギャップは世界120位に転落した。この状況下で本町が進めるスマートシティ(自動運転)、ふるさと納税は将来性がない。派遣2名は即刻・本来業務に戻すべきだ。

また、保育園に保育士が不補充のまま。学校統廃合も先生の大幅な削減できめ細かな教育ができない。町は、もつと子育て支援に力を入れるべきだ。

牧瀬 明 議員

社会保障費が昨年度と比較して約2500万円減っているため。

令和3年9月議会は、9月1日から9月16日までの16日間の会期で開催されました。
今議会に提案された議案は条例の一部改正5件、補正予算5件、決算認定6件、利益剰余金の処分1件、人事2件、報告2件、諮問2件、発議1件、計24件が上程され、慎重なる審議が行われました。
なお、今議会における一般質問は13名の議員が登壇し、活発な質問が展開されました。

条例改正

ゆずの里オートキャンプ場の使用料が変わります

使用料の変更(令和4年1月1日から変更)

	施設等の名称	単位	使用料
既存	プライベートサイト	1区画1泊	5,200円→6,000円
	フリーサイト	1区画1泊	4,200円→5,000円
新設	ソロサイト	1区画1泊	3,000円
	ドッグランサイト	1区画1泊	8,000円

※町民は上記料金より10%割引！！

補正予算

役場庁舎内の各種手数料の支払いがキャッシュ化へ

事業費…321万円

補正予算

がんばるお店(事業者)応援金

事業費…3011万円

住民課及び税務課の窓口でキャッシュレス決済を導入します。



実施時利用可能カード

新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が減少している中小・小規模企業者及び農林業経営者には、がんばるお店(事業者)応援金5万円を支給します。
申請方法等の詳細は、町ホームページ又は町広報でご確認ください。



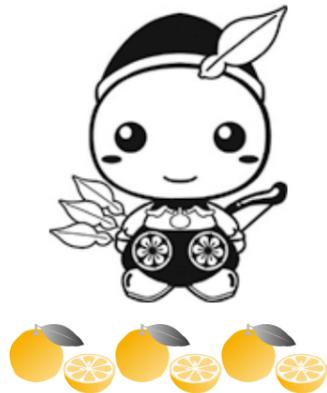
コロナ禍でがんばる商店街

条例改正
個人情報保護条例の一部改正

私は反対します

岡野 勉 議員

日本は「個人情報の管理」が杜撰である。セキュリティが不十分にも関わらず、マイナンバーカードの普及率を上げようとしている。その上、提供先が「総務大臣から内閣総理大臣」に変更される。本人の同意なしに利用しやすくなると懸念される。国会でも関連し、デジタル庁設置について審議は不十分。以上の理由により、時期尚早！慎重に対応すべきだ。



一般質問 町政を問う!
~13名が登壇~

- 水害対策と町道の整備 **下田 泰章**
- 社会環境の変化に対応する教育環境の整備
- 町民のための移動手段 **千葉三津子**
- 大型商業施設の出店 **牧瀬 明**
- 選挙公約の実施状況 **長瀬 衛**
- 太陽光発電施設設置に関する町のガイドラインは守られているか
- コロナ禍の防災訓練はどうあるべきか **村田忠次郎**
- 今後の広域行政
- 毛呂山町の少子化対策
- コロナ禍における行政対応 **平野 隆**
- 川角駅周辺整備
- 新型コロナウイルス対策を含めた今後の行政運営 **佐藤 秀樹**
- 新しき村
- 音声認識による自動入力 **澤田 巖**
- 本町における高齢化の現状を踏まえ、今後の自治会等の運営 **神山 和之**
- 計画的な行政運営
- スマートシティ事業 **堀江 快治**
- 令和4年度予算編成
- 地域再生計画及び実施計画の進捗状況 **高橋 達夫**
- 毛呂山町小中一貫校(学校統廃合)
- 安全・安心な通学路の整備 **岡野 勉**
- 教育・子育て環境の充実
- 福祉避難所
- 電気自動車充電スタンド **小峰 明雄**

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

旭台地区の道路冠水被害は「想定外」なのか

冠水しやすい状況にあると想定している



下田 泰章

7月14日夕方に発生したゲリラ豪雨により町内の数か所で道路冠水被害が発生した。旭台地区の冠水被害はこれまで何度となく発生している。抜本的

な対策が必要である。葛川への水路を新設し下流能力を高めるなどが考えられるが、事前調査や調整すべき事項が多数ありデータ収集に努めている。冠水被害が度々発生しているにもかかわらずデータ収集に努めるとは、理解できない。既設排水施設の線形を見直し流速を上げ、冠水地域への流

入対策等を検討している。

抜本的な対策を講じるには大きな予算と年月を要するが、当該地区に対しては何かの対応が求められる。業者による側溝清掃や高圧洗浄など定期的な対応も必要ではないか。

高沢教育長の小中一貫校のビジョンとは。教育活動に適した施設環境の確保や小中学校間の円滑な教育活動を連携推進する上で、一体型の施設環境は効果的である

と考える。一貫校開設には住民合意が必須であり、引き続き広聴会を継続しご理解を賜りたい。

小中一貫教育プロジェクトは官・民・学の連携を強化し、町全体で子供達の教育に携わりより良い教育環境づくりを目指している。少子化により、自治会活動や子供会の活動、立哨当番の保護者負担など、地域の課題と教育環境の改善は両輪で捉える事が重要だ。

町部局との連携を強め基本方針を推進して参る。



直近7年間で7件の冠水被害、抜本的な改善が必要!

隣接の自治体コミュニティバス停設置で利便性向上を

「レインボー協議会」構成市町で連携検討する



千葉三津子

益々高齢化が進む中、高齢者の医療機関や買い物等への移動支援はもとより、町全体としても町循環バス（もろバス）だけでは限界だと思いが如何か。

本町の「もろバス」は既存の公共交通網を補完し、住民の移動手段確保を目的としている。限られた財源の中で住民の利便性向上を図るため定期的に見直しを実施し、10月から新ルートによる運行が開始される。

定期的に見直しをしているようだが、アンケート調査は行っているのか。

「毛呂山町生活交通確保維持改善計画」の改定時にアンケート調査を実施している。通院や買い物での利用割合が多い結果となった。

高齢者の買い物等の移動支援のその後の取り組みを伺う。

在宅医療の推進や移動販売の普及を進めている。

移動販売の支援とは。

9月から大手コンビニと連携し町内4箇所の自治会館に月4回販売車が試行的に実施する。実施状況を精査して他地域にも広げて買い物支援に繋げていく。

高齢者の移動支援を行って有償ボランティア団体等の



レインボー協議会を通して更なる広域行政の推進を

大型商業施設の出店について

町には賑わう複合商業施設が必要



牧瀬 明

大型商業施設の出店により町のまちづくりが大きく進展するという趣旨の説明でした。そこでこれからの町のまちづくりの構想を伺います。

大型商業施設の出店により町全体の活性化が図られ、本計画では、中心市街地の活性化とそこで培った活力が町の各地域に波及し、また各地域の活力が中心市街地に流入し、全体の活力を増幅するというサイクルの実現が掲げられています。

毛呂山町商工会は大型商業施設の出店で、市街地は空洞化することは必至であると言っている。

私も同感で空洞化を心配しています。私も同感で空洞化を心配しています。空洞化すれば商業的に復活させるのは難しい。そうするとそこで働いていた人たちは生活が困つちやうことになります。どうするんですか。まちづくりの観点から。失業し、非正規の仲間に入つちやうかもしれない。非正規は社員の給料の六割から七割と言われています。そうすると税収が減ることになります。

いまスーパーは半径1kmで4店舗でおちついていきます。それを町は賑わいが欲しいということと、わざわざ壊すようなこと

非正規雇用の話ですが深刻な問題として考えておられます。

非正規雇用の話ですが深刻な問題として考えておられます。



大型商業施設出店予想図

公約の多くが実現していない

公約は町民への約束で重要だ



長瀬 衛

1期目の公約は、プール跡地でキノコ栽培、宿谷の滝で和楽器コンサート等酷いものだった。3期目の公約も、8年間の経験を踏まえ「これなら出来る」

と確信した上で公約したはずだが、中学生の海外交流、長瀬駅にエスカレーター等、多くが実現していない。日化団地踏切拡幅も着手から10年、僅か18㎡の土地買収に670万円等、既に1750万円も支出し、町民の理解は得られない。任期中に完了するのか。今後の完成までの費用は。

町長の公約は重要である。

日化団地踏切拡幅事業は、平成24年度から始めた。他の事業と調整し、継続したい。今後、1億4千万円程度掛かる。

「今年度中に川角駅周辺整備を完成」と公約しているが、不可能である。混乱の原因は、「周辺住民は利用しない駅」と断定したことが、住民無視に繋がった。南口改札・広場がすべてではなく、北側利用者の利便性や周辺地区の発展に寄与し、東部地区の拠点となる川角駅周辺整備を住民とともに考えるべきだ。

改めて利用状況を調査したが、2割程度は地元住民が利用

している。

選挙公約も守られず、町民による署名活動や陳情書等が次々に提出され、塩漬け事業も多く異常事態である。出生率、年少人口割合等の統計順位も下げており、町民から町長リコールについて問い合わせが多い手続きについて聞く。

町長の解職請求は1ヶ月以内に有権者の1/3の署名を集め選管が確認し、有効であれば60日以内に住民投票が行われ、有効投票の過半数で町長は失職する。



どこへいった!「日本一やさしい町の実現」

太陽光発電施設設置について

環境への影響が懸念され改正した



村田忠次郎

国指定文化財史跡の指定の妨げにはなりません。

周囲の景観に悪影響が予想される場合は、設置前に規制出

来ないのか。

文化財保護法では規制できません。

ガイドラインの見直しの必要があるのではないかと懸念され、環境への影響が懸念され令和2年7月1日に改正した。災害防止、環境保存、景観保持等のため条例を制定している市町がある。当町では鎌倉街道を中心に国の文化財史跡の指定を受

ける準備中なので、景観的にはいかがなものかと思う。また、熱海での事故があり、国県の動きもあると思う。

コロナ禍での防災訓練はどうあるべきか

防災訓練はどの程度、町民に浸透しているのか。

17回継続的開催により防災意識の高揚や技術、知識の習得に効果があった。

今年度、防災訓練を中止にした理由は何か。

コロナ感染拡大の為、開催は不適切と判断した。

開催方法の工夫は考えなか

避難所開設訓練等の動画作成中です。

有事に役立つ訓練形式が必要と思うが。

指定避難所を会場として、避難所開設、運営等、体験型訓練を提案したい。

独居家庭でコロナ感染症患者が出た場合、近隣はどう支援したらよいか。

自宅療養者には、自宅療養セットを求めに応じて無償提供しますので、周知の協力をお願いします。



鎌倉街道に近接の太陽光発電設備

今後の広域行政は

進めよう



平野 隆

問 人口減少時代を迎え、隣り合わせの市町村が協力し合える広域行政は大きなメリットと考えるが如何か。

答 本町では、川越都市圏まち

づくり協議会等により、広域行政を推進してきた。現在も施設の相互利用や広域行政課題の検討等を行っている。行政改革の観点からも非常に有効な取り組みであることから、今後も鋭意検討していく所存。

問 代表的な広域行政では、どのようなものがあるか。

答 西入間広域消防組合と近隣の四消防本部と共に、消防指令

業務の共同運用に向けた準備を進めている。令和6年4月1日の運用開始を予定している。

町の少子化対策

問 令和2年度の出生数は117名で誰もが町の将来を心配している。国も県も様々な少子化対策を打ち立てているが、一向に少子化が止まらない現状を踏まえ、町の対策を伺う。

答 魅力あるまちづくりを推進し若い世代をターゲットとした施策体系を敷いている。対策の柱として結婚から子育てまで切れ目のない支援を展開している。昨年度、少子化対策プロジェクト

トチームを結成し、各種検討を行った。

コロナ禍の行政対応

問 災害発生時、コロナ自宅待機者と一般の方の避難所開設は可能か。

答 避難所では、施設ごとの違いはあるが、一般避難者スペースと発熱者専用スペースに区分して受け入れる準備を進めている。

問 庁舎内にクラスターが発生した場合の対応は。

答 職員の40%が出動できない状態を想定した計画を策定している。

協議会はいつから行うのか

9月末か遅くとも10月上旬に行う



佐藤 秀樹

問 現況と今後のスケジュール。

答 早期の協議会設置に向け、鋭意努力しているところだ。今後、川角駅周辺地区整備事業協議会の委員構成について目途が

立ったら、速やかに第1回の協議会を開催したいと考えている。

問 いつまでと期限を設けなければ今までと変わらない。いい加減はつきりして欲しい。

答 9月末か遅くとも10月上旬には開催を目指す。

問 川角駅周辺は、通学路に悩まされてきた南側の住民の方々、北口を残して頂きたい北側の住民の方々、それぞれ意見がある。

双方当然の考えであり、皆様が納得する結果をお願いしたい。また森戸橋が新しくなり、駅周辺の交通量が増え踏切が危険な状況である。道路整備と踏切の拡幅も含め、一度ゼロベースで費用や維持費もきちんと説明しながら協議会でしつかり話し合

って進めて頂きたい。

問 今後、議員ご提案の整備方法も含め、地域の皆様に納得いただけるよう実現可能な整備方針を協議会で検討していく。

答 コロナウイルス対策
重症・中等症・自宅療養について、町は把握しているのか。

問 県が公表しているのみで詳細は把握していない。

問 独居の方が感染したときの対策は。

答 陽性者の把握が出来るない事から個別対応は困難。

問 子供がいる家庭で親が感染した場合は。

答 陽性者の把握が出来ない事から個別対応は困難。

問 そもそも職員は守秘義務があるので、県に詳細の要望すべきだ。

答 検討して参る。

新しき村は町にとって大きな財産

行政として出来る範囲で支援する



澤田 巖

問 昭和14年、毛呂山町に土地を得て「東の村」として再出発した新しき村。現在も武者小路実篤氏の提唱した理念を今なお継承し活動しており82年の月日

が経った。村の現状は。

答 村内会員は8名である。

問 毛呂山町と新しき村の関係はどのようなものだったのか。

答 新しき村と近隣住民とは農業や養鶏を通じて交流が強くあり創立記念祭や実篤氏の作品を通じた文化的な交流、宮崎県木城町と毛呂山町相互の発展に結びつく関わりを頂いた。

問 町は村に対して積極的な支

援をしていないように感じる。現状8名の会員では継続も厳しいはず、このまま解散しては非常に残念、存続のために支援策はないのか。毛呂山町にとっても大きな財産であると考えている。

答 本町の総合振興計画では新しき村は歴史的な文化拠点として位置付けしており毛呂山町にとつて大きな財産であることは感じていて。村の存続や今後について新しき村より相談などがあるが行政として出来る範囲ではあるが積極的に支援していく。

問 音声認識による自動入力

答 国会でも導入している音声認識による自動入力。その進化は著しく民間企業や官公庁などが導入しておりキーボードが不要で発言を瞬時に文字化することが出来る。字幕としても使用可能。ろう者や難聴者の方にも字幕があると意思疎通がスムーズだと考えるが。

問 埼玉県内では、団体が音声認識による自動入力を導入している。高額ではないが会議録や議事録などの文字起こし費用も節税が出来るのは認識しており、今後も調査研究していく。

本町における高齢化の現状を踏まえ、今後の自治会等の運営について

町は、自治会活動等の諸問題について、積極的な課題解決に努める



神山 和之

問 単身高齢者や高齢夫婦世帯の増加に伴い草刈り等、今後の公園管理の在り方について伺う。

答 議員ご指摘の公園の維持管理については、地域のひと話し合いの場を持ち管理又は閉園等は町から積極的に働き掛ける。災害時自主防災組織運営は、

地域の実情に沿った支援を行う。

問 町長、自治会は公園の数も多く除草等の経費を負担し、費用が嵩み運営も大変、これら現状を鑑みて町所有の公園、今後の維持管理をどう進めるか伺う。

答 町長、公園以外で自治会が抱える問題は、空家の増加による環境治安問題、単身高齢者の孤独死問題、災害時の避難問題、地域の希薄化による活動の停滞等、様々な問題で苦慮しており、避けて通れない喫緊の課題だ。

問 町は持続的な活動の為、リーダー研修、会議、資機材整備の推進で活性化を図っている。

答 高齢化が進む中、ソフト面の支援で活性化が図られるとは思えない。組織の運営も温度差があり実効性ある活動が必要だ。

問 地域を守る組織力と有事の際の強固な連携を考えて行く。

問 町長、単身高齢者が増える問題、また流鏝馬を担う担当区も祭馬区として区費の他に負担し祭りを守っている。今後、年金生活者が増え祭りの継続も困難になると推察する。自立できる祭礼として継承する必要がある伺う。

答 高齢化に伴い自治会員同士のコミュニケーションが希薄化し、大変な課題だ。町は区長等を通じ問題解決を図る。また、流鏝馬祭りも、祭馬区の人員の確保等、様々な問題もある。保存会で要望を纏め町が出来ること神事でもあり慎重に進める。



自治会の高齢化問題解決の糸口は、若者の定住化の推進だ



歴史的・文化的にも大きな財産



住民合意による川角駅周辺整備の早期着手を望む！



西入間消防署

公金支出事業が休止中！説明責任は！

図 今後も説明責任を果たしていきたい



堀江 快治

問 現在休止している日化団地踏切拡幅工事、葛貫地内道路改良工事、川角駅周辺整備事業、総合公園プール跡地等利用計画について町ではいつまでに実施

答 していくのか。
問 事業費の問題や課題等が生じているためご理解頂きたい。
答 重要事業が進まない点に疑問を感じる。想定される諸問題は事前確認が必然ではないか。
問 計画段階で、現実的な計画策定が事業達成の可否を決める上で重要と改めて感じている。
答 一般的には公金を支出している投資的的事业は、「中止は適

法、休止は違法」という考えもある。事業が休止している原因と住民への説明責任は。
答 現在様々な手を尽くしている状況なのでご理解頂きたい。
問 町は行田市から頂いた古代蓮について、行田市の取扱要綱に基づく義務規定を遵守しているのか。
答 古代蓮を移設した場所は、水流のある立地として選定したものであるが、看板等については改善を図っていききたい。
問 当初のスマートシティ構想と実際の推進状況に乖離があるのでは。

答 自動運転技術の実装に課題を残している状況。
問 現在までに本町がどの様に变化したのか。
答 実証実験だが、AI等を活用した地域情報写真サービスにより、災害時等に自宅で河川道路の状況を確認できるようになった。
問 ふるさと納税は5千万円から1億円の収入を目標にしているが現状は。
答 事業者数は15者から36者に、品目は34種類から80種類に増加し、金額は前年比の2倍程度。



実現が難しい町道第3984号路線

来年度日化団地の踏切改修工事の予算化は

図 財政担当と相談して予算化したい



高橋 達夫

問 西大久保交差点工事が昨年完了したのだから日化団地55号路線踏切改修工事を来年度予算化すべきと思うが町長の考えは。
答 この踏切工事は坂戸市の森

戸橋架替工事により、急遽西大久保交差点の改修を先にしなければならなくなり、順序が逆になってしまった。西大久保の交差点工事は完了したので、財政局と相談し着手したい。
問 ある議員よりこの土地購入価格が異常に高いとの指摘があるが、何か問題があったのか。
答 土地の購入費は野久保線西大久保の買収価格より遥かに

安い、建物補償費は国の補償算定基準と同じであり、通常の買収価格である。
問 今議会に城西大学から川角駅整備について要望書が来ているが、町は議会の議決により、昨年2月城西大学と「駅舎の移設」「駅前広場やアクセス道路」整備を条件に3億5000万円の負担付寄附の協定を結んでいる。負担付寄附は法律的義務であり、早急に着手をすべきと思うが、来年度予算化するのか。
答 協定は法律的義務を伴う、大学との信頼関係のためにも早急に着手しなければならない。

その事は協議会においてしっかり説明していく。
地域再生計画について
問 この事業資金6億3200万円の町の裏負担は。
答 半分の3億1600万円である。
問 この事業資金はすべて(株)創成舎にいくことになっている。ふるさと納税額は現在、目標の半分と聞く。この会社に2名の町職員を派遣し、更にコンサル料も払っていると聞くが幾らか。
答 月40万円で3年契約である。



早期着工がのぞまれる55号路線踏切拡幅工事

住民の意見が尊重されていない！

図 これからも広聴会を開催します



岡野 勉

問 6月13日、午前と午後2回の広聴会が開催された。そこで出された質疑、答弁(議事録)は「広報もろやま」で住民に周知すると確約された。いつ・どの

ように住民に提示されるのか
答 既に9月号で掲載。広聴会の概要を1頁に纏め、詳しくはホームページに掲載しました。
問 住民対象の広聴会では出された質問・意見は「反対の意見がほとんどだった」「特に指摘が相次いだのは、学力が向上するという根拠が乏しく、費用対効果を根拠が示せない」といった内容だ。正にその通りで町長

教育長はどう受け止めたか。
答 小中一貫教育を効果的に運営するには小中一体型の一貫校が適当と考えます。
 この間に両中学校とも大規模改修事業が行われており、引き続き町財政は厳しい。これからは子育て世代を呼び込む流入・定住にも力を入れていきたい。
問 広聴会の提出資料は予想通り、不十分で住民の質問に耐えうるものではなかった。再三に準備状況を指摘したが誠実に受け止められていない。住民意見を尊重する姿勢が欠落している。
答 これからも広聴会は、折を

見て開催していきたい。
問 教員12名が削減されるのに「統合する」と一校当たりの先生が増えると言った答弁を繰り返している。こんな事では「学校に先生がいなくなってしまう」
答 校務分掌から検討した。
通学路の安全対策を!
問 八街市の「交通事故は2度とあってならない」町内の要望箇所は全部で84か所。ガードレール設置、グリーンベルト、歩道設置一つでも改善に全力を!
答 改善に努める。



コミュニティスクールは意見の尊重から

児童生徒の給食アレルギーへの対応は

図 正確な情報把握と事故予防に努める



小峰 明雄

問 食物アレルギーのある子どもを持つ保護者にとって学校給食は不安や悩みがあると思う。柔軟な対応が望まれますが、児童生徒の給食アレルギー対応は、

県の食物アレルギー対応マニュアルに基づき対応している。
問 教科担任制導入は、教員の働き方改革につながるのか。
答 特定の教科のみの教材研究の時間が軽減されることを考える。
問 学校教育での新聞活用、実践指定校に毛呂山中学校が継続校となりましたが、取り組みは。
答 読む力や書く力の向上に、つながっていると把握している。

保育所に於ける情報通信技術の活用で、保育士の業務負担の軽減を図れる取り組みは。
答 パソコンを活用して、業務改善を図っております。
問 災害対策基本法等の一部を改正する法律が5月に施行され、福祉避難所の確保・運営ガイドラインを改正し公表しましたが、改正後の運営等ご見解は。
答 施設側の意向も踏まえつつ、防災協定や地域防災計画の改定も視野に対応してまいります。
問 個人情報問題もあるが、個別避難計画の作成状況は。
答 しつかり進めていきたい。

指定福祉避難所の機能強化には、社会福祉法人等の福祉施設等に於ける自治体の補助金に対する緊急防災・減災事業債の活用も可能とありますので、社会福祉法人等への周知は。
答 施設管理者と調整し、支援を行ってまいります。
問 電気自動車充電スタンドの保守契約は、設置から8年で令和3年度末で終了、来年度以降の運用は。
答 令和6年3月までは、機器メーカーによる故障対応を行うことが可能である。



学校給食法第2条第3号の達成を切望する

●議案の審議結果(9月定例会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長 欠は欠席

議案		議員名												審議結果		
		神山和之	下田泰章	平野隆	澤田巖	牧瀬明	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	岡野勉	高橋達夫	長瀬衛	堀江快治	小峰明雄	
決算認定	一般会計	○	○	○	○	×討	○	○	○	○討	×討	○	×討	×	議	認定
	水道事業会計、集落排水特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
	国保特別会計、後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	×討	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
	介護特別会計	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
剰余金	水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
一部改正	個人情報保護条例	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	×討	○	○	○	議	原案可決
	手数料条例、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	×	○	○	○	議	原案可決
	固定資産評価審査委員会条例、ゆずの里オートキャンプ場条例、都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正予算	一般会計(第3号)、国保特別会計、集落排水特別会計、介護特別会計	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	一般会計(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
人事	教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申適任
発議	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

9月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
9月 1日(水)	1名
9月 2日(木)	17名
9月 3日(金)	12名
9月 6日(月)	34名
9月 7日(火)	2名
9月16日(木)	0名
合計	66名

傍聴席

初野 誠治氏
昭和19年生 毛呂山町在住

波田 眞澄氏
昭和27年生 毛呂山町在住

人権擁護委員

山口 智一氏
昭和42年生 越生町在住

固定資産評価審査委員会委員

寄崎 順子氏
昭和30年生 東松山市在住

教育委員会委員

人事

高橋 達夫 議員

毛呂山町議会表彰

表彰

あとかぎ

オレオレ詐欺にご注意を!

令和2年度の埼玉県内における特殊詐欺発生件数は増加傾向にあり、特にオレオレ詐欺は前年令和元年と比較すると約5億円の被害額増で12億円以上の被害額である。毛呂山町におけるオレオレ詐欺通報(未遂)件数は70件との埼玉県警察の資料がある。被害が多い季節は年末年始が多く被害年齢は65歳以上の方が大半を占める。固定電話から騙されるケースがほとんど。

対策として

- ①留守番電話にして内容等を録音
- ②相手の番号通知機能付電話にする
- ③録音をしている旨のガイダンスが流れる電話機にする。

私は騙されない!その気持ちだけで騙されません。電話で『お金が必要』との内容は身内や知り合いの名前が出てもし「一度切り、確認」してください。貴重な財産、くれぐれもご注意ください。

(澤田 巖)

編集委員

委員長 千葉三津子
副委員長 澤田 巖
委員 下田 泰章
委員 平野 隆
委員 佐藤 秀樹
委員 荒木かおる

アドバイザー

(議長) 小峰 明雄